

2020年度
「地域密着型サービス外部評価」についてアンケート
集計結果

＜実施期間＞	2020年11月30日～2020年12月12日	
＜対象＞	一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会	
	会員	398 事業所中
	アンケート回答数	260 事業所

1. 2020年度の外部評価の実施状況

	件数	割合
実施した	71	27%
実施予定	81	31%
実施していない（免除の為）	91	35%
その他	17	7%
合計	260	100%

<その他のコメント>

- ・ コロナのため、延期
- ・ 2019年度分実施していない
- ・ 12月の予定だったが感染者拡大にて延期となる。日程調整中
- ・ 実施予定でしたが予防のため今年は見送っています
- ・ 延期とした
- ・ 設立1年目の為
- ・ 実施予定だが、市に連絡し、今後実施しない可能性もあり
- ・ 申し込み用紙を待っている
- ・ 北見市と協議し今年度は実施しない予定
- ・ コロナ禍のため実施していない
- ・ 1月に予定していましたが現状況踏まえて延期としています
- ・ 次年度に延期した
- ・ 次年度に延期した
- ・ 夏にやろうと思って手続きしていたが、途中で難しいと双方で相談し、ストップして保留している
- ・ 例年11月12月も感染拡大で時期を決めかねています
- ・ 2020年実施予定なし

2. 実施した事業所にお聞きいたします

(1) 訪問調査について

	件数	割合
例年通り実施	17	24%
時間を短縮して実施	45	63%
訪問調査はなく書面等で実施	0	0%
その他	9	13%
合計	71	100%

<その他のコメント>

- ・ コロナのため、延期
- ・ ユニットに調査員は入らず事務室のみにし、時間を短縮して実施
- ・ 居住フロア以外の同ビル他階事務所で実施
- ・ ユニットには入室せず、管理者のみで対応し、時間を短縮して実施
- ・ 別室にて時間を短縮して実施
- ・ 事業所外で時間を短縮して実施
- ・ 居室立ち入りなしで時間を短縮して実施
- ・ フロアには入らず休憩室にて行いました
- ・ ユニット、居室の立ち入りせず、調査員の昼食なしで時間を短縮して実施
- ・ 土間を利用し、時間を短縮して実施

(2) 実施時期について

	件数	割合
予定日に実施	54	76%
予定日から延期して実施	14	20%
その他	1	1%
未回答	2	3%
合計	71	100%

<その他のコメント>

- ・ 実施予定日を打ち合せし実施

3. 実施予定の事業所にお聞きいたします

(1) 訪問調査についての要望

	件数	割合
例年通り実施	11	13%
時間を短縮して実施	36	42%
訪問調査はなく書面等で実施	12	14%
時間を短縮して実施 または 訪問調査はなく書面等で実施	5	6%
その他	20	23%
未回答	2	2%
合計	86	100%

<その他のコメント>

- ・ 時間を短縮して実施予定で調整中です
- ・ 状況に応じて本部と健闘
- ・ 12月予定も感染症のため延期、日程は未定
- ・ 訪問調査はなく書面等で実施を希望しているが、実施について本社からの連絡待ち
- ・ オンラインでの遠隔調査
- ・ その時のコロナ禍の状況次第で、時間を短縮して実施
- ・ コロナの経過をみて、例年通りに実施したいが、場合によっては書面等で実施したい
- ・ 今年度は免除か訪問調査ではなく書面等で実施
- ・ 調査事業所の規定に準ずる
- ・ これから実施機関と検討予定。周囲のコロナウイルス感染状況に応じて調査日程や時間短縮等を考慮したい
- ・ 利用者様との接触禁止とし、時間を短縮して実施
- ・ 実施予定でしたが延期
- ・ 感染状況に応じて対応予定
- ・ zoom等Web
- ・ 調査員が札幌のため実施したくない
- ・ 2月に実施予定だが、その頃の状況により延期が可能なら来年度にもちこしなど対応してもらえると嬉しい
- ・ コロナの感染状況を見て、外部評価の事務所と相談してと考えています
- ・ 入居者との接触はさけ、密にならない空間で行う

(2) 実施時期は何月を予定していますか

	件数	割合
12月	12	14%
1月	12	14%
2月	26	30%
3月	18	21%
1月or2月	2	2%
2月or3月	8	9%
1月or2月or3月	3	3%
未定	2	2%
未回答	3	3%
合計	86	100%

4. 全ての事業所にお聞きいたします 今後の外部評価についての要望

	件数	割合
例年通り実施	29	11%
時間を短縮して実施	66	25%
訪問調査はなく書面等で実施	106	41%
時間を短縮して実施 または 訪問調査はなく書面等で実施	18	7%
その他	35	13%
未回答	6	2%
合計	260	100%

<その他のコメント>

- ・ 居住フロア以外で行えるなら時間を短縮して実施。GHの環境上困難なホームはむずかしいと思います
- ・ コロナの状況による
- ・ 昨年度同様、オンラインでの遠隔調査
- ・ 状況により柔軟に考えて頂ければと！
- ・ 自己評価及び運営推進委員等による外部評価
- ・ コロナの経過をみて、例年通りに実施したいが、場合によっては書面等で実施したい
- ・ コロナ収束後に実施か訪問調査ではなく書面等で実施
- ・ その時の状況により、時間を短縮して実施
- ・ 令和3年度実施のため、コロナの状況を見て判断
- ・ 本来の制度の主旨に合った形で実施（より良い方法があれば、形をかえて実施）
- ・ まだ未定です
- ・ 今後現状のような感染流行が治まる前提で訪問調査ではなく書面等で実施。永遠に続くなら来訪してもらえないと考えている
- ・ 本年度は中止とし来年度実施とする
- ・ 来年予定しておりますので、状況で判断したい
- ・ 状況を踏まえながら実施
- ・ 不要だと思います
- ・ zoom等Web
- ・ 必要ないと思う
- ・ 情勢を判断して検討します

- ・ 例年調査で来てもらっている団体と相談し、どの様に行っていくかを検討
- ・ 中止を希望
- ・ 2021年度は免除、次年度は検討中
- ・ 中止
- ・ コロナ情勢が沈静していれば例年通り
- ・ コロナの状況をみながら考えたいが、訪問調査はなく書面で実施
- ・ これから検討する
- ・ 来年度の状況をふまえ検討
- ・ コロナ禍による外部評価の延期の措置があっても良いのではないか
- ・ コロナウィルスの感染拡大状況に応じて検討していく予定
- ・ 次回R3年12月の為、今のところ実施予定です
- ・ 30～60分の訪問調査は出来ない？厳しいのであれば、訪問調査ではなく書面等で実施

5. その他

外部評価についてご意見等をお聞かせください

- ・ 感染拡大地域にお住いの調査員をお迎えするのは、少し怖い気がします。
- ・ この時期に無理して実施して集団感染の危険を冒すよりは、1年の経過措置があってもいいのではないかと思います。
- ・ 外部評価は毎回きちんと受けていますが、普段お願いしている所が札幌からくるので大変不安です。何かあった時基本的にはどこも助けてはくれないので、感染リスクは基本的下げたいと思って、外部評価を現在まで実施せず様子を見ています。
- ・ 面会制限などしている中、他地域からの訪問調査員さんが来られるという所も難しさを感じています。状況が落ち着くまでは訪問という形よりは書面の方が安心かもしれません。
- ・ 家族の面会も禁止、運営推進会議も書面で報告の中で、外部の方を2名も受け入れ面談しなければならない外部評価の体制はコロナ禍の中では不適切ではないかと思います。
- ・ 実施するのであれば、きちんと現場を見て感じて評価するべき。書面で良いのであれば、大金を支払ってまで実施する意味を教えてください。外部評価そのものを考え直すべきでは？
- ・ 特にありません。
- ・ コロナの終息がみえない状況から、部外者を入れる事に不安を感じております。外部評価は必要とも感じておりますので、何らかの方法で行っていただきたいと思っております。
- ・ 調査に来るという緊張感が必要だと思います。訪問して下さい。
- ・ 現時点では書面での実施を希望しますが、治療薬が完成し、インフルエンザのような体制になれば訪問による実施を希望します。

- ・ 行政の实地指導も受けている為、地域密着型サービスのみ外部評価を続けていることに違和感を覚えます。ある一定の実績を重ねた事業所においては、实地指導を重視してはどうでしょうか。続ける場合、評価機関が管内にあることを望みます。札幌に集中しており、コロナ感染予防事業所の来園に不安があります。
- ・ 本年度は免除のため実施しておりませんが、ただ、運営推進員会議を年6回開催することになっておりますが、本年度はまだ2回（6月・9月）しか開催しておらず、三密を避ける、感染が拡大していることなどから、6回の開催は難しい状況になっています。出来れば書面会議を検討しておりますが、いかがなものでしょうか？
- ・ 状況によりどこまで短縮が可能なのを知りたい。
- ・ この度は、入居者様、職員との面談はせず、事務所内でのみ実施していただいております。（換気、マスク、検温、体調確認後）来年度には、コロナ禍も収束していることを願っております。
- ・ 外部評価の調査員が毎回同じ人の時があるとのこと、それは適切な評価になるのか？各評価機関によって単価に違いあり、ホーム側としては、コストをおさえる為安価の機関を選択するので同じ人になっても不思議ではないと思うが…。
- ・ 勉強になったことが3つほどありました。良かったです。
- ・ 今年は免除の年でなかった為、実施しました。（出来ればやりたくなかったです）評価機関も札幌だった為、悩みました。時間短縮で行ってくれたので良かったです。もっと近くに評価機関があればありがたいです。
- ・ コロナ情勢において順応な対応を都度検討して欲しい。
- ・ 外部評価とは別件ですが、運営推進会議の対応についても検討して頂けたらと思います。
- ・ 小規模多機能型居宅介護のサービス評価と同様に、事業所による自己評価及び運営推進委員等による外部評価という方法が地域や家族の声も反映され、また、コスト面等を考えても最良であると考えます。
- ・ 特にありません。
- ・ 江別市も急激に感染が広がっている現状があり、外部から施設へ入ることの不安感が大きいです。ほぼ終息してからのぞましいです。よろしくお願い致します。
- ・ 毎年2月に実施しています。現在の感染者増加を鑑みて、今年度は特例で免除になるとありがたい。（感染拡大防止のため）当GHも毎日感染者を出さない様緊張感を持って業務に勤めています。
- ・ 高い金額を払って外部評価を行う意義が感じられません。行わなければならないので仕方なく行っているというのが正直なところです。
- ・ 新型コロナ感染がいつ終わるかが未明のため、どう対応するのか手さぐり状況です。感染防止を行い、実施すると思われれます。
- ・ ご家族ですら面会を制限している時期は当面見合せ、感染拡大が落ちついてから実施してはどうでしょうか。

- ・ コロナ感染収束までは、対面業務は可能な限り中断すべきと考えます。（目的）利用者、介護職員への感染拡大防止
- ・ 色々な記入の仕方等教えてもらい、ありがたいです。
- ・ 特にありません。
- ・ 時間を短縮し行って頂くのも良いのかなと思いますが、書面等で実施が可能であるなら、そのように対応できたらと思います。
- ・ コロナの影響で外部を招いての年6回のグループホームの運営推進会議を実施することは、現在のコロナウィルスの感染拡大の状況を考えても出来る状況にありません。万が一会議の実施が出来ない場合でも特別な事情に配慮頂き、2年に1回の外部評価の免除をお願いしたいと思います。
- ・ 免除期間を延ばしてほしい。（1年→2年）
- ・ 外部評価の重要性は理解しているが、金額も大きな負担であるとともに、時間も業務の中で負担となっている。短縮時（1時間以内）で、終了する程度のものであれば良いと思うし、金額については、見直して頂けないかと思っています。介護報酬も下がり、職員の給料は上がり、赤字ギリギリで大変な負担です。
- ・ 調査時間はポイントを絞って短時間でも十分と思います。
- ・ 今年度実施の施設はどのように行ったのか教えてほしい。来年もコロナが収束しない場合、書面等で実施でしょうか。
- ・ 1日ばかりではなく、時間短縮できないものかと思っていました。外部から人が入って来る事で、落ち着かなくなる入居者さんもいらっしゃるため、短縮できたらと思います。
- ・ 実施内容も形骸化しており実施することの意味が薄らいでいるように感じる。協会の相互評価を簡便化したものを利用するなどした方が効果があるのではと感じる。
- ・ コロナ禍限定の話か、コロナ禍以降の話も含まれるのかは不明ですが、本来の制度の主旨に合った形でより良い方法であれば形がかわるのもありかと思いません。逆にコロナ禍限定の話であれば、コロナ禍を理由に延期や特例措置の話であれば賛同はしかねると考えます。対コロナ禍の対策と外部評価の実施は関係ないので。
- ・ 今後もこの様な状態が続く様であれば簡素化をしていただきたいと思います。
- ・ GH協会で行っていた相互評価が外部評価として認められたらと思います。
- ・ いつも適正に評価して頂いており必要な制度と思います。ただ、今回のコロナウィルス流行下においては、できるだけ、外部の方の来訪をお断りさせて頂きたいのが本心です。ご家族様の面会も中止している状況の中で、外部評価の方をお招きするのも仕方がないとはいえ、ご家族様には申し訳ないと感じます。
- ・ 現時点で速やかに書面という形にしてほしい。
- ・ 前回も訪問調査では参考になる御意見やいろいろ指導していただき、お世話になりました。今回もご指導いただきたいのですが、コロナ流行で施設感染が一番こわく気を使っています。残念です。

- ・ 現在、北海道のコロナ感染は「緊急事態宣言」が発令されても不思議ではない状況にある。本来「外部評価」は訪問調査によって実態把握が可能であることから、訪問調査を行わず書面の実施で、これをもって「外部評価」とすることは如何なものか。コロナ禍にあって、法的に定められていることを理由に「外部評価」の実施内容まで変更してまで実施することに違和感を覚える。
- ・ コロナの件もあり、地方からの訪問、事業所の方は来所となると抵抗を感じてしまう。
- ・ 富良野市の方針で認知症カフェを行わないと外部評価の免除がなく、毎年うけるようになり、昨年実施しましたが、今年も実施となっております。お金もかかるのに大変です。
- ・ 外部評価機関から情報がもらえるので、時間短縮でも実施していきたい。
- ・ 毎年、2年に一度で良い等の違いはあるが、その違いの理由が分からないので、何とも言えないが、何年に一度とする必要があるかそもそも疑問。ハッキリ言えば必要ないと感じている。アドバイス等についても活かし様がない。
- ・ コロナの状況によっては、予定している外部評価を実施できるか不安はあります。本来では、この状況下では書面が良いと思うのですが、やはり直接評価員に見て頂き感じて頂いた事を話して頂けるのが1番と思います。
- ・ 今回はコロナ禍がひどくなる前の2020年1月に実施致しましたが、コロナが広がっている時は、別の方法での対応も検討してもらえると良いのではと思われます。
- ・ 今後、訪問は難しいと思います。
- ・ 実施する予定でしたが、コロナ感染症が拡大し、書面での調査の実施を希望しています。
- ・ ご家族の皆様にも面会制限している中で調査員の出入りは検討したい。
- ・ 12月に実施予定でしたが、評価機関が札幌と言うこともあり、訪問調査に来ていただくことに心配もあり、又、評価機関の方も今の旭川に来ると言うことに不安を感じていると思い、延期をお願いしたところ、快く承諾してくれました。先が見えないままですので、書面で行えるとありがたいと思います。
- ・ 毎年12月に実施していたが、今年はまだ手続きが出来ていない。
- ・ 11月に行いましたが、とても判断に迷いました。推進会議の様に役所から通達のようなものが出ていれば良かったです。現状は法律違反になると思いやむなく行いました。推進会議は書面などに変えることが出来るとの通達が出ています。
- ・ 発熱者が出た場合は来設できなくなり、再度日程の調整などが必要になるので、書面で対応頂ければ、円滑に実施できると思います。
- ・ コロナのためフロアへの立ち入りはしないとのことで、書類の確認、聞き取りのみでしたが、区や市の連絡会が中止となっている中、情報、アドバイス頂けたので良かったです。自己評価だけではなく日々のケアを外部の方に知ってもらう良い機会となっております。

- ・ コロナ時期は外部者は入園してもらいたくないので、実施免除にしてほしいです。
- ・ グループホームがこれだけ認知され、運営推進会議、情報公開制度があるのにも関わらず、開催する理由に疑問を感じています。せめて、外部評価or情報公開のどちらかにしてほしいです。あとは、書面を簡素化してほしいと毎年思っています。
- ・ GH間の相互評価の方が当方にも参考になるので良い形かとも思いました。
- ・ 毎年ではなく、例えば指定の有効期間内に1回とか実施指導後に行うなど、回数を減らしてほしい。
- ・ 特にありません。
- ・ 外部評価の必要性が理解できない。実地指導だけで充分。
- ・ 北見市はコロナ予防の為の未実施は基準違反と判断しないとのこと。
- ・ 勉強になって良かったです。
- ・ 現状の外部評価の業者の選定や内容では、効果はあまり感じられない。広く浅くより、大切な部分に焦点をあてて実施して欲しい。
- ・ 現在の状況では項目に当てはまらない内容が多いため、現状に合わせた内容で調査をしなければ時間を設けても意味合いは薄くなってしまう。(自己評価も同様)訪問調査でもヒヤリングに時間を要するのに、書面で行うとすれば、伝えたい内容が伝わりずらかったり、確認不足などが生じ、莫大な用紙数や質問事項の拡大が予想される。現状では、そこまで時間を割けないのも事実。
- ・ 評価手数料が高額の事もあり、3年に1度でも良いのではないのでしょうか？
- ・ コロナ禍で外部の人との制限している中で、今後どのように取り組んでいけば良いのか、伺いたいです。(今年度は、研修、イベント等、ほとんどが中止になっています)
- ・ 調査時間が長く、今年は時間の短縮をお願いし実施予定をしています。ほかの市町村(他県)の様に書面で調査をしていただければありがたいです。
- ・ 現コロナ禍の中、例年通り行う事は難しく、書面提出や免除等の取り組みをお願い出来ればと思っております。宜しくお願い致します。
- ・ 外部評価の必要性が無い。(解説して20年たつので)
- ・ 当施設は3月に予定していた外部評価を感染経路が明確に判明していないことから行政とも相談し、指示を仰ぎ7月に延期しました。内容は、人数制限と時間短縮、又、施設内見学を中止する等、一部変更しました。
- ・ 既に一定以上の回数の受審をしている事業所は、訪問をなくしても良いとして、訪問をする場合でも、利用者との接触を省き、実際の書類の確認などにとどめる。(とりあえず今年度中は)外部評価の実施に影響がある運営推進会議の実施について、中止があったとしても2020年度は実施した事とみなす扱いを明確にして欲しい。
- ・ 時間を短縮や、書面等で実施した場合は料金を安くして欲しい。外部評価のあり方について議論があるなか、今回のコロナ騒動を期に外部評価を止めるべき。

- ・ コロナ禍の中、高齢の入居者様を守るため、業務中や、私生活まで全職員が気を配っている中、外部の方が訪問する事には、かなり抵抗がありますので、今後も調査方法について十分に検討していただければと思います。
- ・ 直接事業所を訪問しないと評価できない内容もあると思いますので、できれば例年通り実施してほしい。しかし、感染対策も重要なので、短縮がいいかもしれません。入居者様と一緒にの食事はできません。
- ・ 特別な状況なので、他のものと同様考慮してほしい。又、感染リスクがあるかどうかを知りたいが、「わからない」というのであれば、しない方が良く思う。
- ・ 時期によっては書面のみの方が良い場合もありますが、直接調査員からアドバイス等受けたい気持ちもあります。
- ・ 外部の目が入ることは良いことなので必要だとは思いますが。感染状況によって、できることできないことがかわってくるので、全て同じようにというのは難しいのだと考えています。調査機関とうち合わせの上、変更せざるをえないと思います。
- ・ あまり必要性を感じないので、やるなら3年に1回位で良いかと思えます。
- ・ 2020年度に限り、外部評価は免除に成れば良いと思う。昨年度実施している事業所に限っても良いので、条件付きでも良いので免除にしては良いのではと思う。
- ・ コロナが落ち着くまでは、出来るだけ集まる時間を減らすべきだと思います。
- ・ いつもお世話になっております。
今年度は当ホームは免除の為、訪問調査はごさいませんでした。来年度も新型コロナウイルスに気をつけなければいけない事を意識したうえで、調査員に実施されるのは思っている以上に大変です。
- ・ コロナ感染予防の為、家族の面会制限及び職員の不要不急の町外への外出を制限している状況で、札幌からの調査員が短時間とはいえ施設内に入るには抵抗がある。
- ・ 今回は調査機関の調査員の方が札幌から来訪ということで、双方、感染対策に非常に配慮しました。(最小限の導線と時間等)機関の市では、以降の他事業所の外部評価については、書面で行う旨検討するとのことでしたが、道についての早目の判断、指示をお願いしたいです。
- ・ 特にありません。
- ・ コロナ禍の中、調査員の方を施設内に入らせていただくのをためらうこともあった。
- ・ コロナ感染予防の為、利用者様との接触を避け、面談室にて、書類、自己評価、外部評価の内容についてヒヤリングを行いました。面会も制限をしている為、外部の方をホームに入らせて頂くのに少し抵抗がありましたが、色々な助言を頂き勉強になりました。
- ・ 訪問がほとんど無い状況で、家族アンケートは難しいのではないかと思う。外部評価もそうだが、他の消防訓練等もうまくできていなく、色々迷っている。

- ・ コロナの影響で運営推進会議等出来ず、書面を郵送したりしているが、その地域ごとに警戒レベルが違うと思うが、どこまでコロナの影響を加味してくれるのだろうか？万全を尽くすべく、警戒したいと思っても、その地域は大丈夫でしょと考えられたら、どうして行っていないのですか？となりませんか？評価者ごと考えも違うでしょうし、困惑ばかりです。
- ・ 土間を利用して換気を充分に行いながら実施させて頂く。調査員の方達には、土間の方から入居者さまのご様子等みて頂き、ご理解ご協力を頂き実施する事が出来た。
- ・ 今後の外部評価につきましては、できれば書面のみにして頂き、それが難しければ、時間と対象（職員1名）を限定（短縮や省略）して実施して頂きたいです。
- ・ コロナウィルス感染拡大により面会制限をしています。可能であれば、書面等で実施もしくは延期等をお願いしたいです。
- ・ 現時点での訪問となると、いろいろリスクがある為、書面等で実施出来るのであれば、実施しても良いのかと思われます。
- ・ 今年の2月から継続して面会制限を出しています。感染予防に取り組んでいますが、外部からの訪問について実施するものなのか悩んでいます。書面等も検討しましたが、一方的になるのではないかと思います。入居者の安全と安心を守らなければいけない状況が続くなか、実施しなければいけないものでしょうか。もう少し事態が落ちついてから実施したいと思っています。
- ・ あまり効果的な外部評価ではなかったと思う。このような状況下で実施される事を疑問に思っている。
- ・ コロナの影響にて、訪問は難しいと感じました。期間も（免除）延長してほしいと思います。
- ・ 実施の際、管理者1名、ケアマネ1名が対応したが、今後時間を短縮し実施してほしい。

2020年11月30日

会員各位

一般社団法人
北海道認知症グループホーム協会
会長 宮崎 直人（公印省略）

2020年度「地域密着型サービス外部評価」についてアンケートご協力のお願い

初冬の候、会員の皆様におかれましてはコロナ禍の中、一致団結してこの難局に立ち向かわれていることと存じます。

また、最前線で国民の健康福祉に貢献してくださっている医療従事者、介護従事者に心より敬意を表します。不安な日々を過ごされている皆さまにおかれましても、一日も早い事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

さて、北海道庁に先日「地域密着型サービス外部評価」について問い合わせしたところ、道庁でも対応に苦慮しており、グループホーム協会として意見を求められました。これに対して当協会会員からアンケート調査を実施し、アンケート結果を踏まえて道庁に当協会から参考意見として提言させていただきます。

別紙のアンケート用紙にご記入の上、**12月 7日（月）まで**に当協会宛までFAXで返信をお願いいたします。

お手数をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

一般社団法人
北海道認知症グループホーム協会
事務局：
TEL 011-208-3320 FAX 011-204-7312

